

農山村の地域資源を次世代に

『都市と農村をつなぐボランティア活動』

とちぎ夢大地応援団



【第1回】7/5

←色とりどりのジャガイモに
大感激でした。

オオムラサキの放蝶です。
大きさはスズメ大です→



とちぎ夢大地応援団ジュニア育成活動の報告

未来を担う子供達に農業や農村が果たす役割について関心を持ってもらうため、小学生とその家族による農村の環境保全活動や農業体験を行いました。

内容：7/5 ジャがいも掘り・オオムラサキの放蝶

10/18 そばの刈り取り・公園周囲の除草

2/5 そば打ち体験と試食・オオムラサキの幼虫採取と公園への放虫

場所：那須烏山市大木須「オオムラサキ公園」



【第2回】10/18

←そば刈りも初体験
稲刈りよりも簡単



アズマヒキガエルと→
初体面 恐る恐るです



【第3回】2/15 お世話になった大木須の皆さんと

はばたけ夢大地

第6号

2009/3

とちぎ夢大地応援団事務局
(財) 栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

とちぎ夢大地応援団活動の取り組み地区から

—はじめて取り組んだ地区の状況から—

『佐野市下彦間地区』 ～カタクリの里復活大作戦～

6月1日、応援団と地元下彦間地区むらづくり推進協議会の方達総勢57名が集結して、集落裏山の繁茂しすぎた笹藪の刈り払いと、伐採したまま放置されている残材の除去作業を行いました。当日は特に笹藪の刈り払い作業に「森林ボランティア」の方々が多数参加してくれたため、大きな成果を収められました。カタクリは適度に日が当たらないと繁殖しないためこの成果が楽しみです。交流会は地元須花坂の農村レストラン「憩館」で地元産の手打ちそばを味わいながら開催しました。

当地区は高齢化が進み、里山の維持管理活動が困難な状況ですが、地元の宝である「カタクリ」を復活させて地域の活性化に結びつけるべく、今後も皆様のお力を頂きながら、カタクリの群落復活を夢見ています。



『日光市文挾地区』 ～グラウンドワーク活動によるため池と周辺整備～

11月9日、県内各所からの応援団38名と地元文挾ため池ふれあいの里づくり協議会の皆さん方達総勢77名が集結して、ため池に溜まった土砂の排除や周辺の除草作業を行った後、隣の約30aの休耕田に菜の花の種を蒔きました。

特にため池の土砂さらいは重労働でしたが、若い応援団の方々の力を結集し、つらいながらも楽しい作業でした。菜の花は来春には黄色の大規模なお花畑に変身するそうですので楽しみです。昼食は地元婦人会の方々が心づくしのおにぎりや豚汁を振る舞って頂き、楽しい交流会となりました。



—継続地区から—

『那須塩原市関谷地区』 ～親水水路の草刈り・交流会～

8月31日、ウスバキトンボが群舞する中、県内から駆けつけた応援団13名と地元関谷上の内むらづくり協議会の皆さん方総勢29名で、親水水路の草刈りとごみの除去作業を行いました。約500mの玉石積み水路は水量も多く、水源も源流に近いのできれいでした。作業の間には「オニヤンマ」が頭上を飛び、アカトンボの群れなす風景に心とんだ一日でした。昼食を兼ねた交流会は地元婦人会の方々が郷土料理を提供して頂いたり、水路脇に祭ってある「肩切り地藏尊」の謂われを聞いたりして、楽しい交流会となりました。



『鹿沼市中粕尾地区』 ～ホタル生息地の水路清掃と休耕田の保全～

9月28日、彼岸花の紅色が鮮やかな中粕尾に、県内外から駆けつけた応援団15名と地元和田用水ホタルの里を支援する各団体員の皆様方総勢52名で、ホタル水路内に繁茂している「コカナダモ」の除去作業と休耕田への小松菜の種まきを行いました。

当日参加した子供会の親子は、「コカナダモ」の中に隠れているオニヤンマのヤゴやサワガニ捕りに歓声をあげていました。ものすごい量の「コカナダモ」を取り除き、疲れた身体を地元女性会の方々心づくしの郷土料理で癒していただきました。来年のホタル乱舞が楽しみです。



『那須烏山市国見地区』 ～国見地区棚田保全活動～

11月1日、真っ黄色なミカンとユズに彩どられた国見の里に、今年もリピーター応援団の宇都宮大学やナルクの方々等30名と、地元自治会や棚田保全組合の方達総勢50名で、棚田北斜面の急傾斜の雑草や小灌木の刈り払いを行いました。

急斜面での草刈り機操作は熟達者でないと難しいですが、皆様馴れた手つきで一気に片づけました。当日は県内で初めての「地域通貨券」が試行されました。国見の「みかん」をイメージした「券」は昼食時に地元女性会が作ってくれた「すいとん」と交換したり、観光みかん園の入園料として使用でき好評を博しました。



『茂木町小貫地区』 ～放牧場跡地桜の木保全活動～

11月16日、小雨が降り続く放牧場跡地に、森林ボランティアの方々や宇都宮大学そしてナルクの皆さん方等県内外からの応援団34名と、地元小貫焼森の里づくり協議会員の方等総勢72名が集まりました。作業は200本の桜の木への追肥作業です。石混じりの溝掘り作業は殊の外困難を極めました。全ての木に追肥が終わりました。ここでも「地域通貨券」の試行が行われ、地域の農産物販売交流施設「いい里さかがわ館」で手打ちそばや農産物との交換に使われました。今年の4月は元気になった桜の花見が期待されます。



事務局 (財) 栃木県農業振興公社
〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2-2-13
TEL 028-648-9511 FAX 028-648-9517
栃木県農政部農村振興課
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337